



豊 中 市 教 育 セ ン タ ー

〒560-0033 豊中市蛍池中町 3-2-1-600

T E L 0 6 - 6 8 4 4 - 5 2 9 0

F A X 0 6 - 6 8 4 0 - 8 1 2 7

平成 24 年 (2012 年) 10 月 16 日 第 55 号

## 『優劣のかなたに ～大村はま先生の実践に学ぶ～』

8月7日(火)、夏季教職員研修会を実施しました。今年度は、大村はま記念国語教育の会事務局長 苅谷夏子さんを講師にお迎えしました。

苅谷さんはご自身が中学生の頃、大田区立石川台中学校で大村はま先生と出会い、教えを受けられました。大村はま先生といえば、平成17年(2005年)に98歳で亡くなるまで、一國語教師として生き抜いた方です。単元学習をはじめ、戦後の国語教育を真摯な実践をもって切り拓き、子どもに本当のことばの力をつけることを追求されました。晩年も講演や執筆で「プロとして教えること」を熱く訴え続けられました。苅谷さんは大村先生の晩年の10年間ほど、講演旅行をともにするなど、傍らでその仕事を手伝い、現在は大村先生の仕事に学び、継承しようとする活動に携わっておられます。講演では、苅谷さんと大村先生とのエピソードや、大村先生が教師として大切にしておられた信念が現代に通ずることなどを中心に、私たちに語りかけるような優しい口調でご講演いただきました。

演題の『優劣のかなたに』は、大村先生が最後にのこされた詩です。その詩稿には「ひたすら」ということばが、斜めに幾重にも重なって書かれ、その言葉が一番大事にされたことがうかがえたそうです。「だれが優秀で、だれが劣等生か、そんなことを忘れて、それぞれが精一杯のことをする。そうであってほしいと、私は願って来ました。」との思いをこめて、大村先生が残されたメッセージです。「学びひたり 教えひたろう 優劣のかなたで。」と詩は結ばれています。学ぶことや教えることに心から没頭できる場が教育であり、それぞれが精一杯のことをするのが教育の原点である、と改めて心に刻みました。





# 夏季休業中の市実施研修について

～73研修、1,836人の方の参加がありました！～

教育センターではこの夏、73の研修を実施しました。「課業期間中はなかなか参加しにくい…」という声から、できるだけ夏季休業中に研修を企画しました。

参加者は延べ1,836人あり、研修をとおしてさらに学びを深めることができましたと思います。市主催の授業づくりや子ども理解、学校運営等についての研修をはじめ、豊能地区相互交流研修への参加もありました。

以下、参加者アンケートから感想の一部および研修の満足度について紹介します。

## ★研修の感想

### ◆ステップアップ研修（図工・美術）

たくさんの内容を教えていただいて、今後の作品づくりの参考になった。特に低学年向けの内容は、今まで経験がなかったので実際に作ることができてよかった。

<小学校>

### ◆教育相談応用研修

ロールプレイをすると自分のダメなところが見えてしまってとても嫌なのだが、ペアの人や講師の先生の言葉に助けられて、役になりきって楽しんで受講することができた。<小学校>

### ◆フレッシュ研修（とよなか人権まちづくりセンター）

これからの世代の子どもたちのことを考えて大人が変わらないといけないと思った。大人自身が持っている考えはなかなか変えられないかもしれないが、差別を生み

だす心や考えとは何かを次世代へ伝え、教えていかなければならないと思った。

<中学校>

### ◆ミドルリーダー研修（保護者対応）

実際にロールプレイもあり、たいへん参考になった。同じ子どもを、親も教師も見守っているのだから、まず子どもが困らないように協力関係を結んでいくことを一番に考えていきたい。<中学校>

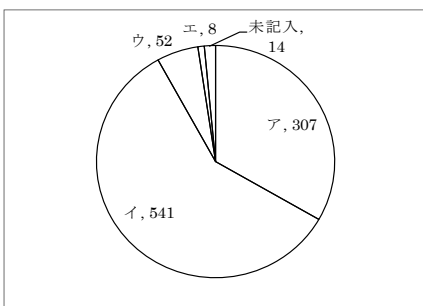
### ◆社会科研修（地理）

地球儀の作業は数学的な力が問われるので、どのように授業を展開するか難しいところであるが、具体的な内容だったので参考になった。飛行機の時刻表を活用するのは時差にも応用でき、いろいろ考えさせられるよい教材であった。

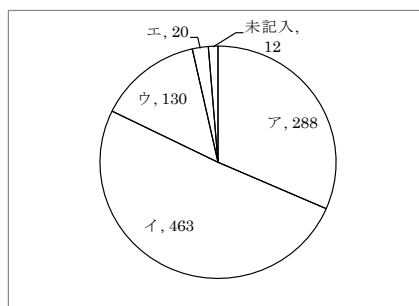
<中学校>

## ★研修の満足度

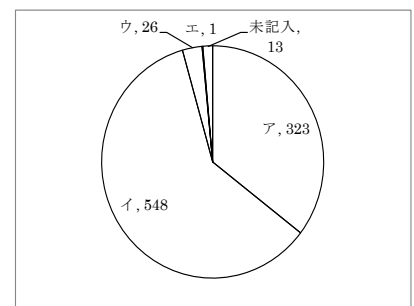
期待や要望に答えているか



研修の内容は充実していたか



今日の教育課題に応えたものか



ア 強く思う

イ 思う

ウ 思わない

エ 全く思わない

## 理科展を開催しました。

9月14日～19日まで豊中市小中学生理科展を開催しました。今年度は、昨年度に比べ、各学校に提出された作品総数が大幅に増えました。多くの学校で理科の自由研究に取り組まれるようになった結果だと思われまます。

理科展ではその中から各学校の力作 509 点が所狭しと展示され、会場のあちこちから「すごい」「よく研究しているね」「びっくりした」といった来場者の声が聞かれました。

土曜、日曜日には第三中学校理科部、第四中学校自然科学部、第十一中学校自然科学部の皆さんや近隣の高校の科学系クラブが来場者に科学を体験していただくブースを開き、多くの人でにぎわっていました。

展示作品の中から、校種別に各 6 点を選び、豊中市の代表作品として大阪府学生科学賞に応募します。作品は、大阪府教育センターで10月20日(土)に10時から15時まで展示される予定です。

また、豊中市独自の賞として昨年度から大阪大学と連携し、「大阪大学総合学術博物館長賞」「大阪大学総合学術博物館待兼山賞」を創設していただきました。博物館長賞は、特に独創性に富んだ実験・観察に取り組みすぐれた研究成果を収めた作品に贈られ、待兼山賞は、柔軟な感性で問題をさぐり出し、堅実で丁寧な実験・観察を重ね、すぐれた研究成果を収めた作品に贈られるものです。

さらに今年度、これに加えて「豊中市教育センターあすなる賞」を新たに創設しました。これは、独創性に富む着眼点を持ち、今後の発展が期待できる作品を、小学4年生、中学1年生から各一点を選出するものです。

これらの賞の表彰式を12月8日(土)14時から当教育センターで行います。表彰式では受賞者による作品のプレゼンテーションや大阪大学の上田貴洋教授によるご講演を予定しております。

## 大切な情報を守るログインパスワード -小学校39校ではログイン表示が一部変わります-

これから11月にかけて小学校39校(桜塚、北緑丘を除く全小学校)のPC教室の機器の更新があります。その際、職員室で先生方がお使いになっているノートPCも、設定が若干変更となります。

これまで、ログイン時に「seito」と自動的に表示されていたPCも「seito」とは表示されなくなります。各学校にお渡ししている「user00～99」のユーザー名と、それぞれのパスワードを入力していただき、ログインしてください。パスワードは秘密にさせていただきますようお願いいたします。

なお、ログインアカウントが変わるとデスクトップにあるファイルが見えなくなりますので、設定変更のためにPCを回収する前に、デスクトップにあるファイルをDドライブ等に退避していただきますようお願いいたします。

大阪府学生科学賞応募作品  
小学校 全 5804作品(うち理科展 412作品)  
中学校 全 3696作品(うち理科展 97作品)

作品名	学校名	学年	名前
猪名川の水質とそこにすむ生き物	豊島小学校	6	濱田 翔太
水中におけるきそ知識	上野小学校	6	有賀 寧々
薬になる身近な野草	庄内小学校	6	近藤 勇太
ゴキブリの気持ち	庄内小学校	5	谷岡 将吾
千里川を調べよう	東豊中小学校	6	島谷 勇輝
Roots of my face	野畑小学校	6	小川 隆翔
天然酵母の発酵の研究	第九中学校	1	前平 衣織
真夏の輪ゴム大実験	第十一中学校	1	橋本 真子
花が決まった時間帯に開花する条件と理由	第十一中学校	2	中澤 利恵
魚のうろこ	第十三中学校	2	植松 歩美
昆虫標本&採集記録	第十六中学校	1	近藤 忠仁
トマトの実の維管束	第十八中学校	2	山田 寛子

### 大阪大学総合学術博物館長賞

作品名	学校名	学年	名前
Roots of my face	野畑小学校	6	小川 隆翔
花が決まった時間帯に開花する条件と理由	第十一中学校	2	中澤 利恵

### 大阪大学総合学術博物館待兼山賞

作品名	学校名	学年	名前
薬になる身近な野草	庄内小学校	6	近藤 勇太
魚のうろこ	第十三中学校	2	植松 歩美

### 豊中市教育センターあすなる賞

作品名	学校名	学年	名前
カエルの解剖	大池小学校	4	張 琳華
キッチンペーパーのすきまを通る水	第一中学校	1	高田 夕輝

■どの学校でもご留意ください■席を離れる際には「Ctrl」＋「Alt」＋「Del」キーを同時に押し、次に「コンピュータのロック」をしていただくと、そのPCの前に座った人が誰でも情報が取り出せる危険を避けることができます。また、学校を出られる際には、必ずシャットダウンをお願いいたします。

気になる子どもへの支援のヒントより

## おとなしい子



2学期は学校行事が多く、それらの取り組みなどを通して、いろいろな子どもの姿に気づく機会が多いかもしれません。Aさんは集団に入っていけず、緊張しておどおどして、担任の先生は心配しています。Aさんにどのように関わっていけばよいのでしょうか。

まず A さんの様子をよく見てみましょう。

- \* 普段どのような表情をしていますか？ 表情の変化は見られますか？
- \* 友だちとの関わりはどうか？  
例) 仲のいい子はいますか？ 集団に入って遊ぶことはありますか？
- \* 授業への参加態度はどうか？
- \* 家ではどんな様子ですか？



など・・・

Aさんはふさがちな表情をしていて、友だちとの遊びでは集団に馴染めず一人で離れていることが多いようです。2、3人の特定の友だちに誘われると一緒に楽しく遊んでいます。人との関わりは求めているものの、自分から誘うことは難しいようです。

学習面では一定の理解力はあるものの、授業中に当てられると黙ってしまうことがあります。家では、Aさんは自分から話したり行動したりすることが少なく、家族が先回りして行動してしまうことが多いようです。自信がなく、自己主張できないことがうかがえます。

支援の手だてとして以下のことが考えられます。

- ① 普段から A さんのいいところ、努力しているところをほめる。
- ② A さんの活躍の場を作る（興味のあることや係活動などを通して）。
- ③ うなずきや表情の変化などの小さなサインから読み取った気持ちを、言葉にして声をかける（例「Aさんは～とってるみたいだね」）。受けとめてもらったと感じることで安心感が深まっていく。
- ④ 困った時はいつでも頼っていいというメッセージ（例「わからないことは先生に聞いていいからね」）を伝える。
- ⑤ 保護者に A さんのいいところを伝えて、家でもほめてもらう。

日々の生活の中で、周囲から受け入れられているという安心感と自信を育てていくことが大切です。

参考：『気になる子どもへの支援のヒント—相談事例集—』 p 12, 13, 42, 43

大阪府教育研究所連盟 教育相談部会編 豊中市教育センター平成 21 年(2009 年)3 月発行